

令和 7 年度

リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議 会議録

日 時：令和 7 年 4 月 30 日（水）14 時～15 時

会 場：奈良市役所 中央棟 B1 会議室

出席者

【会 長】

敬称略

奈良市長	仲川 げん
------	-------

【副会長】

奈良商工会議所	副会頭 森島和洋
公益社団法人 奈良市観光協会	会長 増尾 朗

【会員】

春日大社	参事 森 誠康
一般財団法人 春日若宮おん祭保存会	会長 森島 和洋
元興寺	公益財団法人元興寺文化財研究所 事務局長 江島 和哉
東大寺	庶務執事 上野 周真
奈良観光物産協会	会長 藤井 保成
奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部	支部長 下谷 幸司
奈良市自治連合会	金野 秀一
奈良商工会議所青年部	会長 奥西 将平
一般社団法人 奈良青年会議所	理事長 米澤 弘朗

【顧問】

衆議院議員	小林 茂樹
奈良県議会議員	中川 崇
奈良県議会議員	疋田 進一
奈良県議会議員	松木 秀一郎
奈良県議会議員	藤田 幸代
奈良県議会議員	伊藤 將也
奈良県議会議員	永田 恒
奈良市議会議員	森岡 弘之
奈良市議会観光文教委員会委員長	塚本 勝

【事務局】

観光経済部	部長 栗山 稔
観光経済部	次長 上南 善嗣
観光経済部観光戦略課	課長 久島 靖広
観光経済部観光戦略課職員	

令和7年度 リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議

日時：令和7年4月30日（水）

14時～15時

会場：奈良市役所 中央棟

B1 会議室

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

（1）リニア中央新幹線の整備状況及び奈良県内のボーリング調査について

（2）令和6年度の活動報告及び令和7年度事業計画について

（3）リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議 決議

（4）質疑応答

4 閉 会

(以下、議事内容) ※敬称略

1. 開会

【司会】

ただいまより「令和7年度リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議」を開催いたします。
この会議は、奈良市情報公開条例第29条の規定に基づき、公開いたします。

また、後日、会議録を作成しますので録音や写真撮影など、ご了承くださいますようお願い申し上げます。会議内容などにつきましては、ホームページ等でも公開いたします。

なお、本日の傍聴の申し出はありませんでしたので、ご報告させていただきます。本日は会員11名、顧問9名にご出席いただいております。

次にリニア中央新幹線奈良駅設置推進会議の会長であります、仲川げん奈良市長からご挨拶させていただきます。仲川会長よろしく申し上げます。

2. 会長挨拶

【会長：奈良市長 仲川 げん】

本日は大変お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

すでに報道等でもございますように、東京・名古屋間につきましては、工事が進捗しており、名古屋以西の概略ルートの絞り込み、また概略の位置を確定するためのボーリング調査が開始されておりまして、リニア中央新幹線名古屋・大阪間の環境影響評価にJR東海が着手されたことが、令和5年の12月に公表されております。

また、市内の候補地といたしましては、令和6年6月より、各所でボーリング調査が行われており、プロジェクトが着実に進捗していることを実感しております。

そのような中、今月の13日には大阪関西万博がスタートいたしました。開始から1週間で、50万の来場者という状態でございます。

奈良市の宿泊件数につきましても、4月につきましてはもとよりハイシーズンということもあり、件数自体は昨年同等であります。1人当たりの宿泊単価が概ね10%以上向上しているということで、需要増の力強さを感じるころでもございます。

今後、リニア中央新幹線につきましては特に、本市の悲願であります市内への駅の設置というものが、奈良市の観光産業に与える影響が大変大きく、また、そもそもその事業の効果というところに関しても、やはり需要が最も大きいところに駅を位置することが、事業を成功させる上でも大変重要なファクターというふうに考えております。

引き続き、会員の皆様方には力添えを賜りまして、何よりも事業主体でございますJR東海に対しましても、しっかりと地元の誘致、温度が向上しているということをお伝えしていくことが重要であろうと考えております。引き続き皆様方のご協力をいただきながら、大阪までの全線開業の早期実現を確かなものにして参りたいと考えておりますので、本日も忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【司会】

仲川会長ありがとうございました。それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきますと思います。ここからの議事の進行は、仲川会長にお願いいたします。

3. (1) リニア中央新幹線の整備状況及び奈良県内のボーリング調査について

【会長：奈良市長 仲川 げん】

それでは進行させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず初めに、「リニア中央新幹線の整備状況及び奈良県内のボーリング調査について」事務局より報告をお願いいたします。

【事務局】

それでは、品川・名古屋間の工事の実施計画の概要について説明させていただきます。

現在、工事が進んでいる品川・名古屋間は全体で285.6キロ、うち86%がトンネル区間という形になっております。総工事費は7兆482億円。完了予定時期は当初2027年となっておりましたが、南アルプストンネルの静岡間のトンネルの工事にまだ着手見込みが立たない状況を踏まえ、2027年から2027年以降ということで変更されました。JR東海は工事の見通しがたった段階で、改めて工事の完了時期の変更申請を行うという形で聞いております。昨年の2024年6月に『骨太方針2024』が閣議決定されましたが、名古屋から大阪の区間に関しましては、現状、令和19年（2037年）というのは変わっておらず、まず2037年を目指して、工事の完了といったスケジュールになっております。

続きまして、品川・名古屋間の工事の進捗状況です。JR東海が発表されておりますが、契約済みの工区延長は9割、用地の取得率は約80%になります。発生土の活用先の確定状況も約80%となっております。

次に、品川・名古屋間で工事が止まっている静岡区間についてですが、水資源、環境保全に関する有識者会議の報告書で整理された対策について、科学的、客観的観点から、その状況を継続的に確認することを目的とした『リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議』が国土交通省により令和6年2月に設置されました。そして、令和7年3月25日には第6回目となるモニタリング会議が開催されました。

また、令和6年2月、静岡県はJR東海との対話項目を明確にするために「今後の主な対話項目」として3分野28項目に整理しました。複数回にわたる地質構造・水資源部会専門部会、生物多様性部会専門部会で対話を進め、令和7年3月時点で28項目のうち8項目の対話が完了、18項目が対話中という状況です。

改めて静岡工区に関しましては、対話が順調に進んでいるという状況になっております。

次に、名古屋から大阪の状況について説明させていただきます。JR東海は、三重県及び奈良県の候補地周辺において、計画段階環境配慮書の作成にあたって、必要となる概略のルートの絞り込みと概略の駅位置の選定のためのボーリング調査を開始し、リニア中央新幹線名古屋・大阪間の環境影響評価に着手したことを令和5年12月7日に公表されました。奈良県内もJR平城山周辺、JR新駅周辺、JR関西本線と近鉄奈良線が交差する周辺と中間駅候補地が3か所あります。この3箇所、ボーリング調査を開始されました。

まず、JR 平城山周辺は駅前の広場で令和 6 年の 6 月下旬から 9 月上旬にかけて、ボーリング調査をされました。こちらのボーリング調査は完了されたということで報告いただいております。

JR の新駅周辺は九条のスポーツセンターで令和 6 年の 9 月上旬から 10 月中旬にボーリング調査が行われ、こちらのボーリング調査も完了したということで報告を受けています。

JR 関西本線と近鉄橿原線が交差する場所です。こちらは奈良県の総合庁舎敷地内で、令和 5 年から 12 月上旬から令和 6 年 2 月上旬にかけて行われました。ですので、奈良県内の 3 候補地すべてボーリング調査は無事終了したという形になっております。

3 ヶ所の候補地でのボーリング調査は一旦終了しまして、地質の調査を JR 東海が今行っているという状況であります。また、引き続き必要があれば、違う近隣の場所でのボーリング調査を実施したいという旨の報告も受けております。

では、ボーリング調査が完了すると、その後どういう形で進んでいくかについて簡単に説明させていただきます。

ボーリング調査の完了後、続いて環境影響評価というのを JR 東海がされることになっております。これは、開発事業の内容を決めるにあたって、それば環境にどのような影響を及ぼすかについて、事業者自らが調査・予測・評価を実施し、その結果を公表し、国民、地方団体などから意見を聞き、それらを踏まえて環境保全の観点から、より良い事業計画を作り上げていこうとする制度となっています。

環境影響評価の手続きについては、まず計画段階環境配慮書の公表があります。そこの前段階が今の状況になります。ですので、ボーリング調査をして、計画段階環境配慮書を公表するということまでサポートしている状況になります。

この計画段階環境配慮書が公表されれば、ある程度の候補地が見えると考えています。

公表までにどれぐらいかかるかは JR 東海の判断になりますが、この環境影響評価が公表されると、約 3 キロの幅で概略ルートが示されることになりますので、この段階で、ある程度候補地がどこになるかというのがわかると考えております。決定まであとどれぐらいか未定ではありますが、次のステップまで来ているということだけ報告いたします。以上です。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございました。ただいまの議事 1、「リニア中央新幹線の整備状況及び県内のボーリング調査」につきまして事務局から報告がございました。この点について、ご質問等ございましたらお願いいたします。

【奈良市自治連合会 金野 秀一】

今ボーリング調査というお話がありましたが、この地域、特に奈良市内につきましては京奈和自動車道のところもあって、そこの水質調査も重ねてやっておられますが、特にこのリニアの調査結果については水質がどう変わったのかという報告についてどうなっているのかなと。京奈和自動車の場合は、NEXCO 西日本さんから水質も含めた状況を示してもらっています。そういう意味で、リニアの方はどうなのかなと思ひまして。まして、一定期

間の地下水位については年間で水位が変わると思うので、計測するにも一時点だけでは済まないのではないかなと思っているのですが、その辺の考え方は、JR 東海さんの方ではどのようなになっていますか。

【事務局】

水質に関しましては、現在ボーリング調査をしております、データに関してはまだこちらに何もあがってきていない状況になりますので、今後そういったボーリング調査の結果や水質の状況などは、奈良県や奈良市の自治体に報告が来ますので、その段階からの話し合いとなるかと考えております。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

少し補足説明させていただきますと、すでに着工している東京・名古屋間に関しても、静岡の問題はありますが、昨年度、東京の住宅の庭で水が流出しているというようなことが確認されて、JR 東海が工事との関係性を認められたというニュースもございました。

工事を一旦止めて、また再発防止策をとられているということ、それから中津川の方でも、工事現場の方で地盤沈下が見られたということで、JR 東海さんもやはりこの地下構造、水の問題というのは、静岡の話もあってかなりセンシティブにとらえておられるので、逆に言うと、注意を払って取り組もうとなさっているように感じます。おそらくルートを決めて、実際に先ほどの説明にありましたように環境影響評価をこの先進めていく際、そういったところについてはより重点的にデータを取られて、対策をされた上で進めていかれると考えております。現時点では、予備調査のような段階ですので、予備調査をもとに今申し上げたような技術的な支障がどれぐらいあるかということも含めて、候補地 3 つの中から選ばれるのではないかと考えております。

【奈良市自治連合会 金野 秀一】

計画の調査の期間はどうでしょうか。奈良市は、特に平城宮跡を抱えていて、地下埋蔵物というのは常に問題になってきていますし、現実はこの市役所を含めた、地下の北東部分からの地下水の水の流れが多いという風に言われています。私も言われているだけで実際どうなのかわかりませんが、そういう意味で、一時点の調査ではなく、京奈和の場合は 1 年間のデータ計測をされています。それで、その水位の変化を示していただきました。そういうこともあるので、水問題についてはどうなのかなと。奈良市にとっては、平城宮跡の埋蔵物、文化財は財産だと思うので、そのあたりについて、JR 東海さんはどう考えているのかなと伺いたいです。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

私が JR 東海さんの考えを代弁するわけにはいきませんが、情報の交通整理ということで申し上げれば、今おっしゃっていただいたように、例えば京奈和自動車道の大和北道路に関しましては、すでに事業が着手されているということと、経過観察として平城宮跡内に観測点を設けて、安定的にデータを取られております。この辺りは、もうすでにこの事業

が具体的なルートも含めて、示されている中で動いておられるのかなと思います。

リニアに関しましては、まだルート自体どこを通るのかという手前のまた手前の段階ですので、そういった意味では、今は一定期間の調査のみですけれども、今後、環境影響評価をされるということであれば、基本的にはアセスメントはホールシーズンとりますし、季節ごとの湧水量の差ということも当然勘案したうえで、データを取られると考えておりますので、その点についてはご懸念いただくほどではないかなと認識をしております。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

それでは最後に総括して、ご意見やご質問等いただければと思いますので、次の項目に移らせていただきたいと思います。

それでは次の議事、「令和 6 年度の活動報告及び令和 7 年度の事業計画」につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

3. (2) 令和 6 年度の活動報告及び令和 7 年度事業計画について

【事務局】

事務局から報告させていただきます。

令和 6 年度の活動報告としまして、1 つ目がブース出展でのノベルティ配布になります。令和 6 年 7 月 7 日には、奈良クラブの奈良市民デーに出展させていただき、リニアの啓発をさせていただきました。8 月 11 日には『大和鉄道まつり 2024』、11 月 30 日にオープンした道の駅クロスウェイなかまちのオープンイベント、12 月 8 日には奈良マラソンのイベントにも出展させていただきました。

今年に入りまして、3 月 15 日から奈良市 DAYS ということで、道の駅クロスウェイならまちで改めてアピールさせていただいたところであります。そのブース出展で配布させていただいたノベルティも作成いたしまして、リニアデザインのクリアファイル、ボールペンを市民の皆さま、また市外の方にも配布し、アピールさせていただき、奈良市がリニアを誘致しているということを改めて周知いたしました。

また、イベント以外にも広告としまして、web や雑誌の広告を出させていただきました。観光雑誌の『まっぷる』の 2026 年度版でリニアをアピールさせていただいたのと、奈良新聞さんの元旦特別号に掲載させていただいております。

また、しみんだよりでは隔月で『リニア通信』という形でリニアの情報、活動報告等もさせていただいているという状況になっております。

続いて、リニアの PR 看板提出ですけれども、こちらは令和 4 年にデザインを一新し、現在は市内 6 カ所に継続して掲げております。

掲出場所は、近鉄奈良駅前行基広場、JR 奈良駅東口階段、鴻ノ池運動公園の陸上競技場、近鉄学園前駅北口歩道橋、奈良市役所の駐車場入口、近鉄高の原駅の改札前歩道橋で、現在も掲出させていただいているという状況です。

次に、令和 7 年度の事業計画ですが、県外向けの PR といたしまして、現在開催中の『大阪・関西万博』で奈良市のノベルティを提供したいと考えております。続きまして、『ツーリズム EXP02025』ですが、今年は愛知県で開催されますので、こちらに出展して、改めて奈良市のリニアについてアピールしたいと考えています。そして、奈良の観光の方も一緒

に周知していきたいという風に考えております。

県内向けのPRといたしまして、今年も6月21日に奈良クラブ市民デーというのがありますので、こちらで出展させていただき、8月9日・10日の『大和鉄道まつり2025』、来年2月10日・11日には、『第20回国内観光活性化法フォーラム』が奈良100年会館で開催されます。こちらは全国の旅行会社が一堂に会するものになりますので、こちらでもしっかりとアピールしていきたいと思っております。また引き続き、道の駅クロスウェイなかもまち、SNS等でも発信していく予定です。いり

最後に、奈良市リニアファン倶楽部についてですが、今まで奈良市リニアファン倶楽部会員6,700名に向けて、リニアの情報発信をしていました。メールでの情報発信になっておりましたが、メールが変わっているなどの理由で、会員皆様に情報が届かないということもありましたので、昨年リリースしました、奈良市公式アプリ「SHIKA no ASHIATO」に移行いただき、アプリ上で改めて会員を募るというかたちにさせていただきます。アプリの会員に入ってくださいと、オリジナルの会員証の発行や、リニアの情報をプッシュ通知でお伝えしたり、イベントの出展情報、グッズの配布、そういったところしをわかりやすくアピールできるという風に考えております。事務局からは以上になります。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。啓発事業等を計画しているということでございますので、皆様の方からも、説明にございました昨年度の事業報告、それから今年度の事業計画につきまして、ご意見等ございましたらお願いいたします。

当初の計画よりも、静岡問題で2027年の東京・名古屋間開業が大幅な遅延が見込まれているという中で、全線開業についての目標については、政府の方でも2037年という風に掲げられておりますが、技術的にはなかなか難しいところがあるのかなということで、少し市民の皆さんの期待感としても、スケジュールが先に延びたのではないかなという雰囲気が漂いつつある状況でもあるかなと感じています。

そんな中でございますが、先ほどございましたように、2日間で4,000名が集まる鉄道イベント等、いろんなところで、引き続き奈良市が候補地であるということはアピールしているということでございます。本日お集まりの皆様方の様々な活動の現場、またチャンネルを通して、ぜひ市民の盛り上がりを作っていきたいという風に思っておりますので、皆様の方からもぜひ、こんな取り組みしたらどうかというようなご提言も含めて、ご意見を頂戴できればなと思っております。

それでは議題の3番目でございます。リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議の決議について事務局の方から案をご説明いただければと思います。

3. (3) リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議 決議

【事務局】

決議読み上げ

決 議

リニア中央新幹線は、日本の三大都市圏を約一時間で結び、巨大経済圏「スーパー・メガリージョン」を形成する、我が国の将来にとっても極めて重要な国家的プロジェクトであり、そのプロジェクトを加速するため、総額3兆円の財政投融資が活用されている。

沿線3府県及び経済団体においては、令和6年12月に「令和6年度三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進に関する決議文」が取りまとめられ、ルート及び駅位置の早期確定と早期全線開業の実現が決議された。

これらの動向に関し我々は、全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画及び整備計画における主要な経過地として「奈良市附近」と明記されていることから、奈良県全域のさらなる発展のため、リニア中央新幹線の早期全線開業及び「奈良市附近駅」の概略ルート及び駅位置の早期公表に向け、引き続き官民一体となり強力な運動を展開するとともに、関係機関に対し、下記について早急に適切な措置を講じられるよう要望する。

記

- 1 国土強靱化、地方創生回廊の実現に向け、より一層早期にリニア中央新幹線の東京・大阪間の全線開業を行うこと。
- 2 大規模災害等発生時のリスク分散化のため、東海道新幹線のリダンダンシー機能を備える「奈良市附近駅」を経由するルートを早期確定すること。

以上決議する。

令和7年4月30日

リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議会長

奈良市長 仲 川 げ ん

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

この決議案の内容につきまして、皆様からご意見をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【衆議院議員 小林 茂樹】

先ほどからの会長のご発言にもありました通り、機運を高めるという声がありましたが、若い世代向けにリニアへの興味関心を呼び起こすには、やはり試乗会に参加していただくことが非常に有効だと思います。かつては、競争倍率が高くてなかなか乗れなかったと言われていますが、最近は乗りやすくなっているのではないかと思います。

リニアの目的はリダンダンシーと沿線開発、災害に備えるということと、新たな沿線開発を違うルートで8の字で作るということに大きな意味があります。したがって、京都ではないということが明らかなのですが、もう一つの理由は科学技術を振興するという目的が確かあったと思います。そのような考えは、若い世代の心を打つかなと思います。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。大変重要なお指摘をいただいたと思います。

ちなみに、この推進会議の委員の皆様で試乗会に一度でもご参加なさった方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。まずリニア乗ってみたいとイメージが湧かないこともあるかと思います。リニア事業を住民の理解をいただきながら、早期に実用するという意味では、その活動の中心にいるこの参加者の皆さんに、なるべく早期に試乗会等に参加をいただくということも重要なと思いますので、今詳しくお伝えいただいたところも含めて、JR 東海さんにも共有させていただきたいと思います。それから若い世代向けのところを今年度の事業計画の中でも意識を置いて特にしっかりやっていきたいという風に思っております。

【奈良商工会議所 森島会長】

特にこの決議内容に何の意見もないのですが、かねて空港と新幹線のない都道府県は山梨、三重、奈良だけということで、この前 JR の方にご案内いただいて山梨に行ってきましたが、山梨では目も見張るような施設が建設されていて、もうすでにリニア新幹線が走っているのと同然の地域の盛り上がりがありました。その中で、何十年後かわかりませんが、奈良にもそういう風な日が訪れる可能性が日に日に高まっていくのを、我々としては、後世にその機運を伝えていく義務があるという風に思いますので、先ほど小林先生がおっしゃったように試乗して、体験して、その感想を述べて後世に伝えるというような役割が、この推進会議の大きな役割の一つではないかと思いますので、さらに我々の方でしっかりと活動していきたいという風に考えております。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

今、森島会長の方からも、機運の盛り上がりが東京・名古屋までと名古屋以西で温度差

があるのではないかということも含めて、ご指摘をいただいたと認識をいたしております。スケジュール的なところが見えないというのが一番悩みではございますけれども、特に未来志向な事業ですので、しっかりとPRをしていきたいと思っております。

では、決議内容につきましては原案通りご承認いただくということでよろしいでしょうか。特に異議ないようでございますので、この内容で決議とさせていただきたいと思えます。ありがとうございます。

それでは本日予定をいたしております議事といたしましては以上でございますが、この際、皆さまの方からご意見ございましたらお願いいたします。

【奈良県議会議員 松木 秀一郎】

ありがとうございます。奈良県議会委員の松木秀一郎です。奈良市としてもあちこち垂れ幕や看板等で、リニアを奈良市内に持ってくるという思いを非常に強く感じています。リニアはだいたい先の話になるという側面もあると思うのですが、奈良市附近駅に停まる本数や、速達性の高いタイプの列車がどのくらい停まるようになるのかというのが、駅位置が確定した後非常に大事な論点になってくると思っております。私は現在、奈良にいますが、東京、大阪、静岡に住んでいたことがあります。同じ東海道新幹線の沿線でも、まったく利便性が違う乗り物だと感じておりまして、本当にこだまタイプしか停まらない駅になってしまうと、利便性として厳しいものがあると思いますし、逆にいうと、ひかりタイプで、例えば新大阪を出て、奈良に停まって、そのまま名古屋に行って、名古屋から品川までノンストップのようなものが、一時間に一本とか停まってくれば、かなり観光や出張が根付きやすいなというふうに思いますが、そのあたり、だいたい先にはなると思うのですが、何か想定されていることはありますでしょうか。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。私も最新情報はアップデートできていないのですが、以前の説明ですと、一時間に一本は停まるような話でJR東海さんから伺っておりますので、ご案内のように、東海道新幹線自体はそのまま残される計画だと聞いております。

そういう意味では、松木議員がおっしゃったように、いかに本数を多く確保するかが重要になってきます。せっかく駅ができて、あまり効果がないということにならないようにするためには、そういった意味では奈良市内に駅を設置するというのがそのうえで非常に重要だと思っています。

ちなみにこの決議もそうですし、行基広場の看板もそうですが、実は今奈良市、奈良市とあまり言わないようにして参りました。といいますのは、奈良県内で複数の市町村が争っているような印象をJR東海に与えるのは、得策ではないということになり、それよりもまず、京都には絶対ならないように、奈良というところにアクセラを置いたプロモーションしましょうということで進んでおりました。ところが一方で、奈良市以外の38の市町村が結束して大和郡山にというお話を熱心になさっているという話も伺いますので、この辺りは悩ましいところだなあと我々思っております。

どちらがいいか、県内で綱引きをするつもりは毛頭ございませんが、事業としての完成度といいますか、採算性も含めた事業の成功という意味では、やはり需要地であります奈

良市内に駅を設置するというのを、我々としては声を上げていくことが非常に重要だと思っております。貴重な意見、ありがとうございます。

【奈良県議会議員 中川 崇】

直接関係ないかもしれないですけども、車両基地をどこに作るか問題があったと思います。そういう車両基地を作れるような場所がルート上にあるのかどうかというのも重要なことだと思うので、最近そういった話がでてきているのかどうか聞きたいです。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ご質問ありがとうございます。これも、奈良市が勝手に、JR 東海さんを差し置いていろんな案を考えるというのはいかがという話はあるのですが、奈良市で候補地としています JR 平城山及び JR 新駅につきましては、その後、西側に延線していく沿線上、おそらく生駒市エリアあたりになるかと思っておりますけれども、作業基地として十分確保できるであろうと考えております。

現状は、まず車両基地よりも、駅の方をということで声をあげておりますけれども、そのあたりは自治体とも連携しながら、車両基地も含めて、県内で整理をしていくという風に我々も考えております。

ご意見ありがとうございます。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

決議文につきましては、このような形で承諾をいただいたということで、また関係機関に周知いただきたいと思いますと思っております。

引き続き皆様方には、リニア中間駅の奈良市内設置実現に向けて様々な角度からご指導いただき、また周知啓発にもお力添えをいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。それでは進行事務局にお返しいたします。

【事務局】

以上をもちまして、令和7年度奈良市リニア中央新幹線奈良駅説地推進会議を終了いたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。